

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛媛県

総務省

— 目次 —

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	今治病院	3
-	南宇和病院	4
-	新居浜病院	5
宇和島市	市立宇和島病院	6
宇和島市	宇和島市立吉田病院	7
宇和島市	宇和島市立津島病院	8
八幡浜市	市立八幡浜総合病院	9
西条市	西条市立周桑病院	10
大洲市	大洲病院	11
西予市	市立西予市民病院	12
西予市	市立野村病院	13
久万高原町	国保病院	14
鬼北町	北宇和病院	15
愛南町	愛南町国保一本松病院	16

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,928㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	824	60.5	62.5	59.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	3	15.8	43.7	44.1	
計	827	60.3	62.4	59.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	10.2	10.1	

貸借対照表		(千円)
区分		決算額
資産合計		54,684,524
1 固定資産		44,881,013
(1) 有形固定資産		41,866,058
(2) 無形固定資産		26,064
(3) 投資その他の資産		2,988,891
2 流動資産		9,803,511
(1) 現金及び預金		1,879,325
(2) 未収金及び未収収益		7,434,612
(3) 貸倒引当金(△)		99,039
(4) 貯蔵品		569,299
3 繰延資産		-
負債合計		66,993,046
1 固定負債		51,102,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		28,581,152
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		8,692,000
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		10,874,204
(6) リース債務		1,786,124
2 流動負債		10,152,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,039,775
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		1,421,434
(6) リース債務		1,197,607
(7) 一時借入金		-
(8) 未払金及び未払費用		5,291,066
(9) 前受金及び前受収益		-
3 繰延収益		5,737,998
(1) 長期前受金		23,503,470
(2) 長期前受金収益化累計額(△)		17,765,472
(3) 繰延運営権対価		-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)		-
(5) 運営権者更新投資		-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)		-
資本合計		-12,308,522
1 資本金		7,048,044
2 剰余金		-19,356,566
(1) 資本剰余金		319,647
(2) 利益剰余金		-19,676,213
負債・資本合計		54,684,524
不良債務		-
実質資金不足額		-
資本不足額(△)		12,308,522
資本不足額(繰延収益控除後)(△)		6,570,524
備考		

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	1,334,841	
決算規模(千円)	740,769,253	
標準財政規模(千円)	363,639,715	
財政力指数	0.42050	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	119.0

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,309,373	2,309,373
資本勘定繰入	717,932	717,932
計	3,027,305	3,027,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		1,334,841
決 算 規 模 (千円)		740,769,253
標 準 財 政 規 模 (千円)		363,639,715
財 政 力 指 数		0.42050
経 常 収 支 比 率 (%)		86.0
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	11.2
	将 来 負 担 比 率 (%)	119.0

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,309,373	2,309,373
資本勘定繰入	717,932	717,932
計	3,027,305	3,027,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院												
				愛媛県															
市町村・組合名																			
病院名		今治病院																	
施設及び業務概況等																			
法適用区分		条例全部	特殊診療機能	透 未 訓															
病院区分		一般病院	不採算地区病院																
建物面積		20,999 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当															
診療科数		23	指定病院の状況	救 臨 ヘ 災 輪															
許可公営企業			看護配置	7：1															
DPC対象病院		対象	経営形態	直営															
			類似区分	300床以上～400床未満															
損 益 計 算 書 (千円・%)																			
区 分		決 算 額	費用 医業収益	全国平均	類似平均														
総 収 益		5,974,062																	
1 経 常 収 益		5,974,062																	
(1) 医 業 収 益		5,278,558																	
(うち修正医業収益)		5,276,155																	
① 入 院 収 益		3,749,771																	
② 外 来 収 益		1,420,130																	
診療収入計		5,169,901																	
③ 繰延運営権対価収益		-																	
④ 運営権者更新投資収益		-																	
⑤ その他医業収益		108,657																	
(うち他会計負担金)		2,403																	
(2) 医 業 外 収 益		695,504																	
(うち国・都道府県補助金)		133,252																	
(うち他会計補助・負担金)		368,887																	
(うち長期前受金戻入)		157,927																	
(うち資本費繰入収益)		-																	
(3) 特 別 利 益		-																	
(うち他会計繰入金)		-																	
総 費 用		6,712,483																	
2 経 常 費 用		6,712,483																	
(1) 医 業 費 用		6,427,517																	
① 職 員 給 与 費		3,615,270	68.5	58.7	59.2														
② 材 料 費		1,371,486	26.0	26.9	26.1														
(うち薬品費)		559,941	10.6	14.8	14.6														
(うち薬品費以外の医薬材料費)		810,622	15.4	11.7	11.1														
③ 減 価 償 却 費		399,145	7.6	8.5	8.5														
④ 経 費		1,010,611	19.1	21.5	21.3														
(うち委託料)		493,283	9.3	11.5	11.7														
⑤ 研 究 研 修 費		20,219																	
⑥ 資 産 減 耗 費		10,786																	
(2) 医 業 外 費 用		284,966																	
(うち支払利息)		3,507	0.1	0.9	1.0														
(3) 特 別 損 失		-																	
損 益	経 常 損 益	-738,421																	
	純 損 益	-738,421																	
累 積 欠 損 金		10,459,750																	
経 常 収 支 比 率		89.0		96.5	95.9														
医 業 収 支 比 率		82.1		86.0	86.4														
修 正 医 業 収 支 比 率		82.1		83.2	83.7														
他会計繰入金対経常収益比率		6.2		11.5	9.8														
他会計繰入金対医業収益比率		7.0		13.7	11.5														
他会計繰入金対総収益比率		6.2		11.5	9.8														
実質収益対経常費用比率		83.5		85.4	86.4														
備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。																			

病 床 利 用 率 ・ 平 均 在 院 日 数 (%)・日)				
区 分	病 床 数	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度
一 般	270	56.5	51.9	54.1
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	50	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	320	47.7	43.8	45.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.1	10.5

貸 借 対 照 表 (千円)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	54,684,524
1 固 定 資 産	44,881,013
(1) 有 形 固 定 資 産	41,866,058
(2) 無 形 固 定 資 産	26,064
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	2,988,891
2 流 動 資 産	9,803,511
(1) 現 金 及 び 預 金	1,879,325
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	7,434,612
(3) 貸 倒 引 当 金 (△)	99,039
(4) 貯 蔵 品	569,299
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	66,993,046
1 固 定 負 債	51,102,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,581,152
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,692,000
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	10,874,204
(6) リ ー ス 債 務	1,786,124
2 流 動 負 債	10,152,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,039,775
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	1,421,434
(6) リ ー ス 債 務	1,197,607
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	5,291,066
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	5,737,998
(1) 長 期 前 受 金	23,503,470
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 (△)	17,765,472
(3) 繰 延 運 営 権 対 価	-
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 (△)	-
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資	-
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 (△)	-
資 本 合 計	-12,308,522
1 資 本 金	7,048,044
2 剰 余 金	-19,356,566
(1) 資 本 剰 余 金	319,647
(2) 利 益 剰 余 金	-19,676,213
負 債 ・ 資 本 合 計	54,684,524
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 (△)	12,308,522
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	6,570,524
備 考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	1,334,841	
決 算 規 模 (千円)	740,769,253	
標 準 財 政 規 模 (千円)	363,639,715	
財 政 力 指 数	0.42050	
経 常 収 支 比 率 (%)	86.0	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	11.2
	将 来 負 担 比 率 (%)	119.0
他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	371,290	371,290
資 本 勘 定 繰 入	88,716	1,089,935
計	460,006	1,461,225
不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
資 金 不 足 等 の 状 況		
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	47.8	
健全化法上の資金不足額(千円)	-	
健全化法上の資金不足比率 (%)	-	
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-	
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-	
備考：		
・修正医業収益とは、医業収益から その他医業収益のうちの他会計負担金を 除いたもので、修正医業収支比率とは、 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。		
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に 占める割合をいう。		
・「不良債務額」、「不良債務比率」、 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、 「健全化法上の資金不足額」、 「健全化法上の資金不足比率」、 「地財法上の資金不足額」、 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で 算出している。		
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の 財政構造の弾力性を判断するための指標で、 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に 支出される経費(経常的経費)に充当された 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債 の合計額に占める割合をいう。		

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		1,334,841
決 算 規 模 (千円)		740,769,253
標 準 財 政 規 模 (千円)		363,639,715
財 政 力 指 数		0.42050
経 常 収 支 比 率 (%)		86.0
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	11.2
	将 来 負 担 比 率 (%)	119.0

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	371,290	371,290
資 本 勘 定 繰 入	88,716	1,089,935
計	460,006	1,461,225

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名					
病院名		南宇和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,000㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)				
区分		病床数		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
一般		199		37.4		36.9		35.7	
療養		-		-		-		-	
結核		-		-		-		-	
精神		-		-		-		-	
感染症		-		-		-		-	
計		199		37.4		36.9		35.7	
平均在院日数(一般病床のみ)				18.1		16.2		16.1	

貸借対照表				(千円)			
区分				決算額			
資産合計				54,684,524			
1 固定資産				44,881,013			
(1) 有形固定資産				41,866,058			
(2) 無形固定資産				26,064			
(3) 投資その他の資産				2,988,891			
2 流動資産				9,803,511			
(1) 現金及び預金				1,879,325			
(2) 未収金及び未収収益				7,434,612			
(3) 貸倒引当金(△)				99,039			
(4) 貯蔵品				569,299			
3 繰延資産				-			
負債合計				66,993,046			
1 固定負債				51,102,857			
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				28,581,152			
(2) その他の企業債				-			
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				8,692,000			
(4) その他の長期借入金				-			
(5) 引当金				10,874,204			
(6) リース債務				1,786,124			
2 流動負債				10,152,191			
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,039,775			
(2) その他の企業債				-			
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-			
(4) その他の長期借入金				-			
(5) 引当金				1,421,434			
(6) リース債務				1,197,607			
(7) 一時借入金				-			
(8) 未払金及び未払費用				5,291,066			
(9) 前受金及び前受収益				-			
3 繰延収益				5,737,998			
(1) 長期前受金前受金				23,503,470			
(2) 長期前受金収益化累計額(△)				17,765,472			
(3) 繰延運営権対価				-			
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)				-			
(5) 運営権者更新投資				-			
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)				-			
資本合計				-12,308,522			
1 資本金				7,048,044			
2 剰余金				-19,356,566			
(1) 資本金剰余金				319,647			
(2) 利益剰余金				-19,676,213			
負債・資本合計				54,684,524			
不良債務				-			
実質資金不足額				-			
資本不足額(△)				12,308,522			
資本不足額(繰延収益控除後)(△)				6,570,524			
備考							
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。							

設立団体の状況		
人口(人)		1,334,841
決算規模(千円)		740,769,253
標準財政規模(千円)		363,639,715
財政力指数		0.42050
経常収支比率(%)		86.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	119.0

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,239	142,239
資本勘定繰入	35,738	1,468,504
計	177,977	1,610,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況		
累積欠損金比率(%)		47.8
健全化法上の資金不足額(千円)		-
健全化法上の資金不足比率(%)		-
地財法上の資金不足額(千円)		-
地財法上の資金不足比率(%)		-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院							
				愛媛県										
市町村・組合名														
病院名		新居浜病院												
施設及び業務概況等														
法適用区分		条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ										
病院区分		一般病院	不採算地区病院											
建物面積		25,229 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当										
診療科数		22	指定病院の状況	救臨感へ災輪										
許可公営企業			看護配置	7：1										
DPC対象病院		対象	経営形態	直営										
			類似区分	200床以上～300床未満										
損益計算書 (千円・%)														
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均									
総収益		6,824,828												
1 経常収益		6,824,828												
(1) 医業収益		5,821,585												
(うち修正医業収益)		5,050,148												
① 入院収益		3,737,383												
② 外来収益		1,184,161												
診療収入計		4,921,544												
③ 繰延運営権対価収益		-												
④ 運営権者更新投資収益		-												
⑤ その他医業収益		900,041												
(うち他会計負担金)		771,437												
(2) 医業外収益		1,003,243												
(うち国・都道府県補助金)		91,408												
(うち他会計補助・負担金)		461,316												
(うち長期前受金戻入)		403,803												
(うち資本費繰入収益)		-												
(3) 特別利益		-												
(うち他会計繰入金)		-												
総費用		7,523,375												
2 経常費用		7,497,591												
(1) 医業費用		7,151,396												
① 職員給与費		3,641,866	62.6	58.7	63.9									
② 材料費		1,236,239	21.2	26.9	21.1									
(うち薬品費)		294,640	5.1	14.8	10.6									
(うち薬品費以外の医薬材料費)		941,449	16.2	11.7	10.2									
③ 減価償却費		1,019,229	17.5	8.5	9.3									
④ 経費		1,228,845	21.1	21.5	28.2									
(うち委託料)		567,557	9.7	11.5	14.0									
⑤ 研究研修費		20,741												
⑥ 資産減耗費		4,476												
(2) 医業外費用		346,195												
(うち支払利息)		57,386	1.0	0.9	1.0									
(3) 特別損失		25,784												
損益	経常損益	-672,763												
	純損益	-698,547												
累積欠損金		6,194,262												
経常収支比率		91.0		96.5	93.2									
医業収支比率		81.4		86.0	81.2									
修正医業収支比率		70.6		83.2	77.9									
他会計繰入金対経常収益比率		18.1		11.5	13.2									
他会計繰入金対医業収益比率		21.2		13.7	16.1									
他会計繰入金対総収益比率		18.1		11.5	13.3									
実質収益対経常費用比率		74.6		85.4	80.9									
備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。														

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	203	61.6	57.3	44.5
療養	-	-	-	-
結核	3	1.9	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	29.9	59.3	17.8
計	208	60.5	56.5	42.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.2	10.3

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	54,684,524
1 固定資産	44,881,013
(1) 有形固定資産	41,866,058
(2) 無形固定資産	26,064
(3) 投資その他の資産	2,988,891
2 流動資産	9,803,511
(1) 現金及び預金	1,879,325
(2) 未収金及び未収収益	7,434,612
(3) 貸倒引当金(△)	99,039
(4) 貯蔵品	569,299
3 繰延資産	-
負債合計	66,993,046
1 固定負債	51,102,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,581,152
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,692,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,874,204
(6) リース債務	1,786,124
2 流動負債	10,152,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,039,775
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,421,434
(6) リース債務	1,197,607
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,291,066
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,737,998
(1) 長期前受金	23,503,470
(2) 長期前受金収益化累計額(△)	17,765,472
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	-12,308,522
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-19,356,566
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-19,676,213
負債・資本合計	54,684,524
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	12,308,522
資本不足額（繰延収益控除後）(△)	6,570,524
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	
---	--

設立団体の状況		
人口(人)		1,334,841
決算規模(千円)		740,769,253
標準財政規模(千円)		363,639,715
財政力指数		0.42050
経常収支比率(%)		86.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)		11.2
将来負担比率(%)		119.0

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,232,753	1,232,753
資本勘定繰入	255,648	821,663
計	1,488,401	2,054,416

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		宇和島市			
病院名		市立宇和島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	34,197㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	426	81.8	82.7	81.5
療養	-	-	-	-
結核	5	10.6	50.7	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	65.4	62.7	82.3
計	435	80.8	82.1	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.0	13.1

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	25,532,990
1 固定資産	14,826,549
(1) 有形固定資産	13,701,759
(2) 無形固定資産	7,593
(3) 投資その他の資産	1,117,197
2 流動資産	10,706,441
(1) 現金及び預金	7,606,007
(2) 未収金及び未収収益	2,403,645
(3) 貸倒引当金(△)	108,146
(4) 貯蔵品	191,549
3 繰延資産	-
負債合計	19,260,404
1 固定負債	14,095,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,905,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,956,046
(6) リース債務	233,353
2 流動負債	3,739,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,221,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	688,371
(6) リース債務	176,271
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,246,389
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,425,806
(1) 長期前受金	5,362,139
(2) 長期前受金収益化累計額(△)	3,936,333
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	6,272,586
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,336,018
(1) 資本剰余金	66,855
(2) 利益剰余金	-6,402,873
負債・資本合計	25,532,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	46,528,835	
標準財政規模(千円)	26,111,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(％)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	
	実質公債費比率(％)	6.2
	将来負担比率(％)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	732,786	735,114
資本勘定繰入	201,096	201,096
計	933,882	936,210

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	70,809	
決 算 規 模 (千円)	46,528,835	
標 準 財 政 規 模 (千円)	26,111,631	
財 政 力 指 数	0.33	
経 常 収 支 比 率 (%)	90.9	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.2
	将来負担比率 (%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	732,786	735,114
資本勘定繰入	201,096	201,096
計	933,882	936,210

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		宇和島市			
病院名		宇和島市立吉田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,489 ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	49.4	40.6	42.1
療養	34	41.8	46.6	50.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	74	45.8	43.5	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	18.2	16.9

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	25,532,990
1 固定資産	14,826,549
(1) 有形固定資産	13,701,759
(2) 無形固定資産	7,593
(3) 投資その他の資産	1,117,197
2 流動資産	10,706,441
(1) 現金及び預金	7,606,007
(2) 未収金及び未収収益	2,403,645
(3) 貸倒引当金(△)	108,146
(4) 貯蔵品	191,549
3 繰延資産	-
負債合計	19,260,404
1 固定負債	14,095,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,905,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,956,046
(6) リース債務	233,353
2 流動負債	3,739,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,221,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	688,371
(6) リース債務	176,271
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,246,389
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,425,806
(1) 長期前受金	5,362,139
(2) 長期前受金収益化累計額(△)	3,936,333
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	6,272,586
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,336,018
(1) 資本剰余金	66,855
(2) 利益剰余金	-6,402,873
負債・資本合計	25,532,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	46,528,835	
標準財政規模(千円)	26,111,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(％)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	
	実質公債費比率(％)	6.2
	将来負担比率(％)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,793	180,793
資本勘定繰入	58,090	58,090
計	238,883	238,883

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	70,809	
決 算 規 模 (千円)	46,528,835	
標 準 財 政 規 模 (千円)	26,111,631	
財 政 力 指 数	0.33	
経 常 収 支 比 率 (%)	90.9	
健全化 判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.2
	将来負担比率 (%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,793	180,793
資本勘定繰入	58,090	58,090
計	238,883	238,883

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院						
				愛媛県									
市町村・組合名		宇和島市											
病院名		宇和島市立津島病院											
施設及び業務概況等													
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透										
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当										
建物面積	8,395㎡	不採算地区中核病院											
診療科数	14	指定病院の状況	救										
許可公営企業		看護配置	10：1										
DPC対象病院	-	経営形態	直営										
		類似区分	100床以上～200床未満										

病床利用率・平均在院日数 (%)・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	58.7	57.1	72.9
療養	40	80.5	76.6	87.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	67.4	64.9	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.1	26.5	26.1

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	25,532,990
1 固定資産	14,826,549
(1) 有形固定資産	13,701,759
(2) 無形固定資産	7,593
(3) 投資その他の資産	1,117,197
2 流動資産	10,706,441
(1) 現金及び預金	7,606,007
(2) 未収金及び未収収益	2,403,645
(3) 貸倒引当金(△)	108,146
(4) 貯蔵品	191,549
3 繰延資産	-
負債合計	19,260,404
1 固定負債	14,095,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,905,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,956,046
(6) リース債務	233,353
2 流動負債	3,739,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,221,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	688,371
(6) リース債務	176,271
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,246,389
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,425,806
(1) 長期前受金	5,362,139
(2) 長期前受金収益化累計額(△)	3,936,333
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	6,272,586
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,336,018
(1) 資本剰余金	66,855
(2) 利益剰余金	-6,402,873
負債・資本合計	25,532,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

設立団体の状況		
人口(人)	70,809	
決算規模(千円)	46,528,835	
標準財政規模(千円)	26,111,631	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,148	223,148
資本勘定繰入	75,410	75,410
計	298,558	298,558

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	70,809	
決 算 規 模 (千円)	46,528,835	
標 準 財 政 規 模 (千円)	26,111,631	
財 政 力 指 数	0.33	
経 常 収 支 比 率 (%)	90.9	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	6.2
	将 来 負 担 比 率 (%)	-

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	223,148	223,148
資 本 勘 定 繰 入	75,410	75,410
計	298,558	298,558

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	44.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院					
				愛媛県								
市町村・組合名		八幡浜市										
病院名		市立八幡浜総合病院										
施設及び業務概況等												
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓									
病院区分	一般病院	不採算地区病院										
建物面積	18,199 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当									
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災輪									
許可公営企業		看護配置	10：1									
DPC対象病院	-	経営形態	直営									
		類似区分	200床以上～300床未満									
損益計算書 (千円・%)												
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均							
総収益		4,717,531										
1 経常収益		4,717,531										
(1) 医業収益		3,748,604										
(うち修正医業収益)		3,590,687										
① 入院収益		2,250,031										
② 外来収益		1,216,421										
診療収入計		3,466,452										
③ 繰延運営権対価収益		-										
④ 運営権者更新投資収益		-										
⑤ その他医業収益		282,152										
(うち他会計負担金)		157,917										
(2) 医業外収益		968,927										
(うち国・都道府県補助金)		179,075										
(うち他会計補助・負担金)		252,347										
(うち長期前受金戻入)		442,889										
(うち資本費繰入収益)		-										
(3) 特別利益		-										
(うち他会計繰入金)		-										
総費用		4,751,884										
2 経常費用		4,751,884										
(1) 医業費用		4,540,437										
① 職員給与費		2,609,464	69.6	58.7	63.9							
② 材料費		779,258	20.8	26.9	21.1							
(うち薬品費)		335,339	8.9	14.8	10.6							
(うち薬品費以外の医薬材料費)		409,162	10.9	11.7	10.2							
③ 減価償却費		470,151	12.5	8.5	9.3							
④ 経費		665,104	17.7	21.5	28.2							
(うち委託料)		388,187	10.4	11.5	14.0							
⑤ 研究研修費		12,027										
⑥ 資産減耗費		4,433										
(2) 医業外費用		211,447										
(うち支払利息)		27,805	0.7	0.9	1.0							
(3) 特別損失		-										
損益	経常損益	-34,353										
	純損益	-34,353										
累積欠損金		34,353										
経常収支比率		99.3		96.5	93.2							
医業収支比率		82.6		86.0	81.2							
修正医業収支比率		79.1		83.2	77.9							
他会計繰入金対経常収益比率		8.7		11.5	13.2							
他会計繰入金対医業収益比率		10.9		13.7	16.1							
他会計繰入金対総収益比率		8.7		11.5	13.3							
実質収益対経常費用比率		90.6		85.4	80.9							
備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。												

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	254	46.2	50.6	53.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	256	45.9	50.3	53.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	15.9	16.1

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	11,893,499
1 固定資産	6,993,443
(1) 有形固定資産	6,497,535
(2) 無形固定資産	4,616
(3) 投資その他の資産	491,292
2 流動資産	4,900,056
(1) 現金及び預金	4,245,849
(2) 未収金及び未収収益	609,481
(3) 貸倒引当金(△)	1,780
(4) 貯蔵品	45,561
3 繰延資産	-
負債合計	8,306,584
1 固定負債	5,838,843
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,828,357
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,010,486
(6) リース債務	-
2 流動負債	934,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	476,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,328
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	302,340
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,533,498
(1) 長期前受金	4,724,301
(2) 長期前受金収益化累計額(△)	3,190,803
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)	-
資本合計	3,586,915
1 資本金	2,200,000
2 剰余金	1,386,915
(1) 資本剰余金	308,403
(2) 利益剰余金	1,078,512
負債・資本合計	11,893,499
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(△)	-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)	-
備考	

設立団体の状況		
人口(人)	31,987	
決算規模(千円)	22,244,508	
標準財政規模(千円)	11,860,640	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	33.2

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	356,555	410,264
資本勘定繰入	228,415	320,885
計	584,970	731,149

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		西条市			
病院名		西条市立周桑病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,355㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

※特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 ※指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院					
病床利用率・平均在院日数（％・日）					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	185	29.0	42.6	42.9	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	185	29.0	42.6	42.9	
平均在院日数（一般病床のみ）		23.1	27.5	27.0	

貸借対照表（千円）				
区分				決算額
資産合計				1,573,798
1 固定資産				1,542,319
(1) 有形固定資産				1,542,306
(2) 無形固定資産				-
(3) 投資その他の資産				13
2 流動資産				31,479
(1) 現金及び預金				31,297
(2) 未収金及び未収収益				182
(3) 貸倒引当金(△)				-
(4) 貯蔵品				-
3 繰延資産				-
負債合計				628,856
1 固定負債				371,676
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				371,676
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				-
(6) リース債務				-
2 流動負債				234,942
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				212,254
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				-
(6) リース債務				-
(7) 一時借入金				-
(8) 未払金及び未払費用				20,633
(9) 前受金及び前受収益				-
3 繰延収益				22,238
(1) 長期前受金				87,586
(2) 長期前受金収益化累計額(△)				65,348
(3) 繰延運営権対価				-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)				-
(5) 運営権者更新投資				-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)				-
資本合計				944,942
1 資本金				2,714,972
2 剰余金				-1,770,030
(1) 資本剰余金				2,867,055
(2) 利益剰余金				-4,637,085
負債・資本合計				1,573,798
不良債務				-
実質資金不足額				-
資本不足額(△)				-
資本不足額（繰延収益控除後）(△)				-
備考				

損益計算書（千円・％）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	138,872			
1 経常収益	138,872			
(1) 医業収益	46,844			
(うち修正医業収益)	5,459			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	46,844			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	92,028			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	88,782			
(うち長期前受金戻入)	3,220			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	184,040			
2 経常費用	184,040			
(1) 医業費用	170,530			
① 職員給与費	-	-	58.7	67.7
② 材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
③ 減価償却費	111,572	238.2	8.5	10.3
④ 経費	56,314	120.2	21.5	29.4
(うち委託料)	2,591	5.5	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	2,644			
(2) 医業外費用	13,510			
(うち支払利息)	13,510	28.8	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-45,168		
	純損益	-45,168		
累積欠損金	4,637,085			
経常収支比率	75.5		96.5	95.4
医業収支比率	27.5		86.0	79.1
修正医業収支比率	3.2		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	93.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	277.9		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	93.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	4.7		85.4	79.2

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。	
---	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		大洲市			
病院名		大洲病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	10,813㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救感へ輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

※特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 ※指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院					
病床利用率・平均在院日数（％・日）					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	142	48.4	49.6	50.8	
療養	-	-	-	-	
結核	8	11.2	22.3	4.4	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	150	46.4	48.2	48.3	
平均在院日数（一般病床のみ）		15.6	17.8	15.4	

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		4,707,815		
1 固定資産		3,764,755		
(1) 有形固定資産		3,763,551		
(2) 無形固定資産		1,204		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		943,060		
(1) 現金及び預金		491,297		
(2) 未収金及び未収収益		393,506		
(3) 貸倒引当金(△)		13,268		
(4) 貯蔵品		69,413		
3 繰延資産		-		
負債合計		3,146,614		
1 固定負債		1,303,960		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		348,965		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		954,995		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		557,253		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		285,514		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		113,984		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		145,075		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,285,401		
(1) 長期前受金		3,807,289		
(2) 長期前受金収益化累計額(△)		2,521,888		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)		-		
資本合計		1,561,201		
1 資本金		1,274,267		
2 剰余金		286,934		
(1) 資本剰余金		603,463		
(2) 利益剰余金		-316,529		
負債・資本合計		4,707,815		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額(△)		-		
資本不足額(繰延収益控除後)(△)		-		
備考				

設立団体の状況				
人口(人)	40,575			
決算規模(千円)	29,189,171			
標準財政規模(千円)	15,597,358			
財政力指数	0.34			
経常収支比率(%)	98.3			
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-		
	連結実質赤字比率(%)	-		
	実質公債費比率(%)	8.2		
	将来負担比率(%)	34.0		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	396,549	396,549
資本勘定繰入	283,511	283,511
計	680,060	680,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書（千円・％）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,011,140			
1 経常収益	3,011,102			
(1) 医業収益	2,397,991			
(うち修正医業収益)	2,350,742			
①入院収益	1,235,597			
②外来収益	1,058,537			
診療収入計	2,294,134			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	103,857			
(うち他会計負担金)	47,249			
(2) 医業外収益	613,111			
(うち国・都道府県補助金)	70,295			
(うち他会計補助・負担金)	349,300			
(うち長期前受金戻入)	165,057			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	38			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,202,468			
2 経常費用	3,190,907			
(1) 医業費用	3,063,467			
①職員給与費	1,710,008	71.3	58.7	67.7
②材料費	578,177	24.1	26.9	18.3
(うち薬品費)	253,261	10.6	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	302,202	12.6	11.7	9.1
③減価償却費	275,219	11.5	8.5	10.3
④経費	466,149	19.4	21.5	29.4
(うち委託料)	291,991	12.2	11.5	13.6
⑤研究研修費	7,755			
⑥資産減耗費	26,159			
(2) 医業外費用	127,440			
(うち支払利息)	13,737	0.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	11,561			
損益	経常損益	-179,805		
	純損益	-191,328		
累積欠損金		316,529		
経常収支比率		94.4	96.5	95.4
医業収支比率		78.3	86.0	79.1
修正医業収支比率		76.7	83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		13.2	11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		16.5	13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		13.2	11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		81.9	85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		西予市			
病院名		市立西予市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,772㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救感へ輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	109	66.0	59.8	69.5	
療養	43	-	-	12.0	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	2	13.7	46.6	19.3	
計	154	46.9	42.9	50.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.2	17.9	

貸借対照表(千円)		
区分		決算額
資産合計		7,605,183
1 固定資産		5,689,239
(1) 有形固定資産		5,266,329
(2) 無形固定資産		179,835
(3) 投資その他の資産		243,075
2 流動資産		1,915,944
(1) 現金及び預金		1,322,269
(2) 未収金及び未収収益		584,307
(3) 貸倒引当金(△)		18,137
(4) 貯蔵品		25,005
3 繰延資産		-
負債合計		5,562,100
1 固定負債		4,052,850
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		4,025,672
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		27,178
(6) リース債務		-
2 流動負債		776,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		419,180
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		155,779
(6) リース債務		-
(7) 一時借入金		-
(8) 未払金及び未払費用		196,744
(9) 前受金及び前受収益		-
3 繰延収益		733,143
(1) 長期前受金		3,002,349
(2) 長期前受金収益化累計額(△)		2,269,206
(3) 繰延運営権対価		-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)		-
(5) 運営権者更新投資		-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)		-
資本合計		2,043,083
1 資本金		2,627,027
2 剰余金		-583,944
(1) 資本剰余金		477,207
(2) 利益剰余金		-1,061,151
負債・資本合計		7,605,183
不良債務		-
実質資金不足額		-
資本不足額(△)		-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)		-
備考		

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	35,388	
決算規模(千円)	31,147,046	
標準財政規模(千円)	16,142,647	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(％)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	
	実質公債費比率(％)	12.9
	将来負担比率(％)	68.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	342,793	424,152
資本勘定繰入	184,927	211,007
計	527,720	635,159

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	41.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況	
人 口 (人)	
35,388	
決 算 規 模 (千円)	
31,147,046	
標 準 財 政 規 模 (千円)	
16,142,647	
財 政 力 指 数	
0.24	
経 常 収 支 比 率 (%)	
97.5	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)
	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)
	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)
	12.9
	将 来 負 担 比 率 (%)
	68.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	342,793	424,152
資本勘定繰入	184,927	211,007
計	527,720	635,159

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		西予市			
病院名		市立野村病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,782㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	60	70.3	70.8	72.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	60	70.3	70.8	72.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	17.5	18.8	

貸借対照表		(千円)
区分		決算額
資産合計		7,605,183
1 固定資産		5,689,239
(1) 有形固定資産		5,266,329
(2) 無形固定資産		179,835
(3) 投資その他の資産		243,075
2 流動資産		1,915,944
(1) 現金及び預金		1,322,269
(2) 未収金及び未収収益		584,307
(3) 貸倒引当金(△)		18,137
(4) 貯蔵品		25,005
3 繰延資産		-
負債合計		5,562,100
1 固定負債		4,052,850
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		4,025,672
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		27,178
(6) リース債務		-
2 流動負債		776,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		419,180
(2) その他の企業債		-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-
(4) その他の長期借入金		-
(5) 引当金		155,779
(6) リース債務		-
(7) 一時借入金		-
(8) 未払金及び未払費用		196,744
(9) 前受金及び前受収益		-
3 繰延収益		733,143
(1) 長期前受金		3,002,349
(2) 長期前受金収益化累計額(△)		2,269,206
(3) 繰延運営権対価		-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)		-
(5) 運営権者更新投資		-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)		-
資本合計		2,043,083
1 資本金		2,627,027
2 剰余金		-583,944
(1) 資本剰余金		477,207
(2) 利益剰余金		-1,061,151
負債・資本合計		7,605,183
不良債務		-
実質資金不足額		-
資本不足額(△)		-
資本不足額(繰延収益控除後)(△)		-
備考		

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	35,388	
決算規模(千円)	31,147,046	
標準財政規模(千円)	16,142,647	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	68.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,483	259,147
資本勘定繰入	52,985	65,089
計	334,468	324,236

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		35,388
決 算 規 模 (千円)		31,147,046
標 準 財 政 規 模 (千円)		16,142,647
財 政 力 指 数		0.24
経 常 収 支 比 率 (%)		97.5
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	12.9
	将 来 負 担 比 率 (%)	68.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,483	259,147
資本勘定繰入	52,985	65,089
計	334,468	324,236

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院						
				愛媛県									
市町村・組合名		久万高原町											
病院名		国保病院											
施設及び業務概況等													
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド										
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当										
建物面積	3,667㎡	不採算地区中核病院											
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ										
許可公営企業		看護配置	10：1										
DPC対象病院	-	経営形態	直営										
		類似区分	50床以上～100床未満										

病床利用率・平均在院日数 (%)・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	65.9	57.6	70.5
療養	-	59.9	61.6	75.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	65.0	59.2	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		33.4	22.6	21.6

貸借対照表 (千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,096,094		
1 固定資産		504,358		
(1) 有形固定資産		503,364		
(2) 無形固定資産		994		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		591,736		
(1) 現金及び預金		427,281		
(2) 未収金及び未収収益		155,155		
(3) 貸倒引当金(△)		-		
(4) 貯蔵品		9,300		
3 繰延資産		-		
負債合計		262,701		
1 固定負債		160,991		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		83,347		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		77,644		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		62,226		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		20,222		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		33,227		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		5,798		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		39,484		
(1) 長期前受金		329,884		
(2) 長期前受金収益化累計額(△)		290,400		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)		-		
資本合計		833,393		
1 資本金		1,016,156		
2 剰余金		-182,763		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-182,763		
負債・資本合計		1,096,094		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額(△)		-		
資本不足額(繰延収益控除後)(△)		-		
備考				

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	899,586			
1 経常収益	899,586			
(1) 医業収益	664,284			
(うち修正医業収益)	624,596			
① 入院収益	421,383			
② 外来収益	176,869			
診療収入計	598,252			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	66,032			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	235,302			
(うち国・都道府県補助金)	42,904			
(うち他会計補助・負担金)	114,370			
(うち長期前受金戻入)	19,851			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	963,932			
2 経常費用	957,424			
(1) 医業費用	929,463			
① 職員給与費	645,240	97.1	58.7	78.7
② 材料費	69,504	10.5	26.9	14.5
(うち薬品費)	36,123	5.4	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,212	3.8	11.7	6.1
③ 減価償却費	44,472	6.7	8.5	11.8
④ 経費	166,687	25.1	21.5	32.3
(うち委託料)	108,181	16.3	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	1,348			
⑥ 資産減耗費	2,212			
(2) 医業外費用	27,961			
(うち支払利息)	564	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	6,508			
損益	経常損益	-57,838		
	純損益	-64,346		
累積欠損金	182,763			
経常収支比率	94.0		96.5	96.4
医業収支比率	71.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	67.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	17.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	77.9		85.4	73.0

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。	
---	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				愛媛県	
市町村・組合名		鬼北町			
病院名		北宇和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,963㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	55	65.3	68.1	78.2	
療養	45	-	-	-	-
結核	-	-	-	-	-
精神	-	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-	-
計	100	35.9	37.4	43.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	25.0	27.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,712,517	
1 固定資産				1,467,613	
(1) 有形固定資産				1,466,452	
(2) 無形固定資産				1,161	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				244,904	
(1) 現金及び預金				74,035	
(2) 未収金及び未収収益				126,136	
(3) 貸倒引当金(△)				335	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,265,150	
1 固定負債				409,844	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				409,844	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				72,626	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				42,109	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,965	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				23,397	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				782,680	
(1) 長期前受金				2,234,887	
(2) 長期前受金収益化累計額(△)				1,452,207	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額(△)				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額(△)				-	
資本合計				447,367	
1 資本金				-	
2 剰余金				447,367	
(1) 資本金剰余金				789,349	
(2) 利益剰余金				-341,982	
負債・資本合計				1,712,517	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額(△)				-	
資本不足額(繰延収益控除後)(△)				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,357	179,226
資本勘定繰入	12,887	12,887
計	184,244	192,113

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名		※特殊診療機能欄 ※指定病院の状況欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院					
				愛媛県								
市町村・組合名		愛南町										
病 院 名		愛南町国保一本松病院										
施設及び業務概況等												
法適用区分	当然財務		特殊診療機能	訓								
病院区分	一般病院		不採算地区病院	第2種該当								
建物面積	3,752 m ²		不採算地区中核病院									
診療科数	3		指定病院の状況									
許可公営企業			看護配置	20：1								
DPC対象病院	-		経営形態	直営								
			類似区分	50床以上～100床未満								

病床利用率・平均在院日数					(％・日)	
区 分	病 床 数	令和5年度	令和4年度	令和3年度		
一 般	-	-	-	-		
療 養	60	72.4	70.8	82.5		
結 核	-	-	-	-		
精 神	-	-	-	-		
感 染 症	-	-	-	-		
計	60	72.4	70.8	82.5		
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-		

貸 借 対 照 表		(千円)	
区 分		決 算 額	
資 産 合 計		944,524	
1 固 定 資 産		573,883	
(1) 有 形 固 定 資 産		572,164	
(2) 無 形 固 定 資 産		1,719	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		-	
2 流 動 資 産		370,641	
(1) 現 金 及 び 預 金		306,385	
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益		56,986	
(3) 貸 倒 引 当 金 (△)		442	
(4) 貯 蔵 品		7,712	
3 繰 延 資 産		-	
負 債 合 計		233,063	
1 固 定 負 債		34,977	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-	
(2) そ の 他 の 企 業 債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金		-	
(5) 引 当 金		-	
(6) リ ー ス 債 務		34,977	
2 流 動 負 債		74,014	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-	
(2) そ の 他 の 企 業 債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金		-	
(5) 引 当 金		30,505	
(6) リ ー ス 債 務		15,120	
(7) 一 時 借 入 金		-	
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用		27,022	
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益		-	
3 繰 延 収 益		124,072	
(1) 長 期 前 受 金		396,558	
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 (△)		272,486	
(3) 繰 延 運 営 権 対 価		-	
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 (△)		-	
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資		-	
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 (△)		-	
資 本 合 計		711,461	
1 資 本 金		652,288	
2 剰 余 金		59,173	
(1) 資 本 剰 余 金		12,364	
(2) 利 益 剰 余 金		46,809	
負 債 ・ 資 本 合 計		944,524	
不 良 債 務		-	
実 質 資 金 不 足 額		-	
資 本 不 足 額 (△)		-	
資本不足額（繰延収益控除後） (△)		-	
備 考			

損 益 計 算 書				(千円・％)	
区 分		決 算 額	費用 医業収益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益		665,671			
1 経 常 収 益		664,684			
(1) 医 業 収 益		364,523			
(うち修正医業収益)		363,775			
① 入 院 収 益		250,551			
② 外 来 収 益		94,151			
診療収入計		344,702			
③ 繰延運営権対価収益		-			
④ 運営権者更新投資収益		-			
⑤ そ の 他 医 業 収 益		19,821			
(うち他会計負担金)		748			
(2) 医 業 外 収 益		300,161			
(うち国・都道府県補助金)		4,756			
(うち他会計補助・負担金)		265,676			
(うち長期前受金戻入)		13,440			
(うち資本費繰入収益)		-			
(3) 特 別 利 益		987			
(うち他会計繰入金)		-			
総 費 用		667,190			
2 経 常 費 用		666,751			
(1) 医 業 費 用		641,913			
① 職 員 給 与 費		415,181	113.9	58.7	78.7
② 材 料 費		58,693	16.1	26.9	14.5
(うち薬品費)		32,489	8.9	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)		15,950	4.4	11.7	6.1
③ 減 価 償 却 費		56,433	15.5	8.5	11.8
④ 経 費		110,532	30.3	21.5	32.3
(うち委託料)		45,697	12.5	11.5	15.3
⑤ 研 究 研 修 費		920			
⑥ 資 産 減 耗 費		154			
(2) 医 業 外 費 用		24,838			
(うち支払利息)		253	0.1	0.9	1.1
(3) 特 別 損 失		439			
損 益	経 常 損 益	-2,067			
	純 損 益	-1,519			
累 積 欠 損 金		-			
経 常 収 支 比 率		99.7		96.5	96.4
医 業 収 支 比 率		56.8		86.0	72.4
修正医業収支比率		56.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率		40.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率		73.1		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率		40.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率		59.7		85.4	73.0

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	265,748	266,424
資本勘定繰入	21,898	11,543
計	287,646	277,967

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況		
累積欠損金比率(％)	-	
健全化法上の資金不足額(千円)	-	
健全化法上の資金不足比率(％)	-	
地財法上の資金不足額(千円)	-	
地財法上の資金不足比率(％)	-	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。